

「多額の不適切な会計処理」へ寄せられた質問について

今回の不祥事に対して皆様から多く寄せられた質問にお答えします。

1. 事実上の横領ではないですか。なぜ「多額の不適切な会計処理」などとごまかすのですか?
→現在、関係当局による捜査の過程にあるため、弊社の顧問弁護士と相談の上、「多額の不適切な会計処理」と記載させていただきました。
2. 「元職員」の実名を明らかにすべき。犯罪なのに庇うつもりですか。
→現在、関係当局による捜査の過程にあり、それを経て法的措置に移行するため、弁護士より実名等の公表は控えた方が良いとの提言を受けています。
3. 年末の時期に公表したのは、どさくさに紛れて早く忘れてほしいからではないですか。
→関係当局の調査の進展を見つつ、できるだけ早いタイミングで公表したいと考え、年末時期の書面送付となりました。クリスマス直後の発表となりましたこと、誠に申し訳ございません。
4. 諸教会・諸団体への報告と謝罪を 12 月に発送した際に、なぜすぐにホームページに発表しなかったのですか?
→まずはこれまで関係のあった教会、諸団体に書面で年内にお知らせし、新年の業務開始後に一般公開しようと考えました。
5. 記者会見を開いて説明すべきでは。
→現在、関係当局による捜査の過程にあり、それを経て法的措置に移行するため、現時点で記者会見等を持つ予定はございません。今後検討してまいります。
6. 会計監査で気づかなかったのですか？ 外部の監査法人に監査を依頼すべきではないですか?
→会計監査に上がる数字が当該人物によって操作された可能性があり、会計監査による把握とチェックができませんでした。そこに至る社内管理のプロセスに瑕疵がありましたので、この点をまずは見直し、再発防止に取り組んでまいります。
7. 数千万円の不整合があったのに、棚卸でどうして分からなかったのですか？

→棚卸の数字の差異が操作されていた疑いがあります。

8. 一人の役員による管理監督を二人の役員にすることですが、それに意味があるのですか。

→複数の管理監督者が複眼的に管理することで部門内での監査を強化する意図があります。その他、現場における現金の取り扱いについては分業化し、複数のスタッフがチェックする体制としました。

9. これまで献金してきたが、その献金も着服されていたのなら悲しいです。

→今回の不適切な会計処理は、当該人物が業務上の立場を利用し、その人物が担当する販売分野において現金で直接お預かりした売上金と献金の一部について発生したものです。献金について現在確認している事例は当該人物が関わった一件です。それ以外の部門において振込み等により送金いただきました献金については、適正な処理を行っております。万一、献金受領の確認等がお手元に書面で届いていない場合は、お客様相談室 (<https://www.wlpm.or.jp/contact/>) までお問い合わせください。

なお、適切な会計処理手順(再発防止策を含む)が整うまで、献金をお願いする呼びかけを停止いたします。手順適正化はすでにできるところから始めておりますが、総合的な対策が整い次第、公表いたします。